



先代が入植した地

2009年、宮崎県で行われた「原木しいたけ生産者大会」での生しいたけ部門で、誉れある林野庁長官賞を受賞したのは、茨城県鉾田市の林幸雄さん。林さんは自宅で「林しいたけ農園」を経営するが、そこは鉾田市でも旧大洋村の一角である。風光明媚かつ温暖な土地柄で、以前より首都圏の別



▲ハウスでホダ木を管理する幸雄さん

の頃からシイタケ栽培を手伝った洋一さん。「その頃は、やれと言われるから手伝っていただけで、特にシイタケ栽培が好き、ではなかった」と思い返す。

高校を卒業後、洋一さんは会社勤めの道を選んだ。朝早くから夜遅くまで、自宅から職場を往復する日々。しかし、意を決していよいよシイタケ栽培のため、職場を離れたのである。

「周囲のシイタケ栽培に携わる人たちが高齢化してきており、そこでシイタケを守るためにやってみよう」。そう思った洋一さん。その背中を強く後押ししたのは、ど

山を継ぐ

勤めを辞め、家族一体で歩む

林幸雄さん一家
(茨城県/表紙の人)

莊地として知られた場所だ。

林さん一家がこの地に暮らすようになったのは、幸雄さんの父親である松雄さんの代からのこと。次男ではあるが、8人兄弟で7番目という松雄さん。地元ではあつたが、この地に入植をしたのだ。もともとはマツの山であり、電気が来るまで、ランプの生活が何年も続いたという台地。そこでサツマイモ・小麦・落花生・菜種などの栽培を手がけてきたのだ。

幸雄さんが生まれたのは昭和23年3月のこと。金の卵と呼ばれた世代である。縁があつて昭和40年から、電気関係の会社に就職。自宅から毎日通っていた。

うやら父親の幸雄さんであつたようだ。

「朝早く6時前に出勤。帰りは21時、22時が当たり前。その割には、それに見合った稼ぎもない。これでは体も壊してしまうのではないか」。洋一さんの体調を気遣っていた幸雄さん。「一から始めるのでは大変ですが、もう設備もだいぶ整って下地もありましたから」。まさに親心で、洋一さんにシイタケ栽培の道を進めたのである。

10年間の会社勤めを終えた洋一さんは、相前後して結婚。奥さんの朋江さんも今では一緒にになり、袋詰めなどシイタケ栽培を手伝っ

幸雄さんがシイタケ栽培を手がけるようになったのは、昭和51年頃。当時、日本に襲いかかったオイルショックは、幸雄さんの仕事にもその影を伸ばし、「仕事がないから早く帰ってもいいぞ」という事態になっていた。

ちょうど3人の子育て時期でもあり、どうにかしなければ、と思つた幸雄さん。当時、親戚にシイタケ栽培をしている人がおり、「これで案外、収入になるぞ」という励ましを受けた。そこで、ナラの山2反を自伐。こうしてシイタケ栽培をはじめたのである。

往時はまだまだ元気があつた松雄さんとともに、幸雄さんの奥さん

ている。こうして、家族一体となり、シイタケ栽培になお一層力が入られることとなった。

現在、林さんのつくつたシイタケは市場には出荷されていない。近くにある幾つかの直売所、スーパーマーケット、さらにネット販売に活路を見いだしている。

直売所では、「消費者の声を聞けるのが励みになって」と洋一さん。試験的にシイタケピザと

んである豊子さんもシイタケ栽培に熱を上げた。当時は長男の洋一さんをはじめ子どもたちは幼く、目の離せない年頃であつた。一方、シイタケの作業は家で出来ることも多く、子どもを見ながらも仕事が続けられるというメリットは大きかつた。

「会社に行きながら冷蔵庫を買つたり運搬機を買つたりして、シイタケ栽培ははかどつた時代です」。当時、100gが300円という時代もあつたと振り返る幸雄さん。ぐいっと手応えを感じていた。一方、「休みはなかつたですよ」と豊子さん。「オイルショックからだから」と長かつた道のりを振り返る。「好きだつたから、億劫だつたことはなかつたです」と2人で口をそろえる。幸雄さんは50歳で早期退職。いよいよシイタケに本腰を入れたのだ。

この地のシイタケを守る

ところで、長男である洋一さんが誕生したのは昭和49年。子ども



▲野菜たっぷりのシイタケピザを持つ洋一さん

仕事だと思ひます」と言い切る幸雄さんも、まだまだ元気印。「厳しい一面もあるけれども」と、そつと付け加えるが、それは他の業種でも同じこと。

家族一体、ますます美味しいシイタケ作り燃えているのである。

(取材・文/三宅岳)

株式会社ジーアイサプライ

森林用 MSAS 対応 高精度 DGPS



SXBlue II

エスエックスブルーツー

- ・精度 60 cm (2DRMS)
- ・防水・防塵 IP67
- ・長時間バッテリー 10 時間以上
- ・日本国内での Bluetooth 技術基準適合証明を取得済
- ・SLED ステータスで受信状況確認、バッテリー残量表示



本体サイズ	14.1cm × 8.0cm × 4.7cm
本体重量	464g
通信ポート	Bluetooth, シリアル, USB
DGPS	SBAS (MSAS・WAAS・EGNOS)



<http://www.gisup.com>

株式会社ジーアイサプライ
〒071-1424 北海道 上川郡 東川町 南町 3 丁目 8-15
TEL 0166(73)3787 FAX 0166(73)3788

カタログ請求・お問い合わせ

フリーダイヤル

0800(600)4132